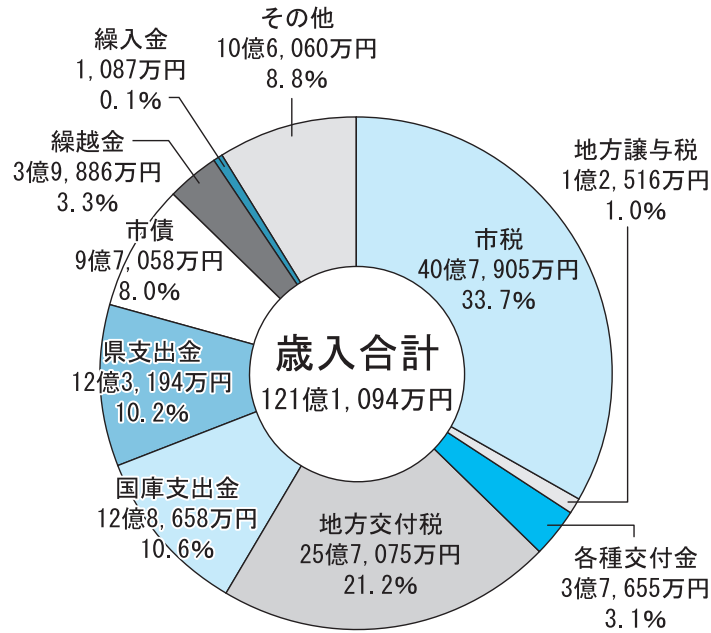


竹原市の財政事情

〔平成23年度決算及び平成24年度上半期予算執行状況〕

問い合わせ
財政課財政係
☎ 2217731

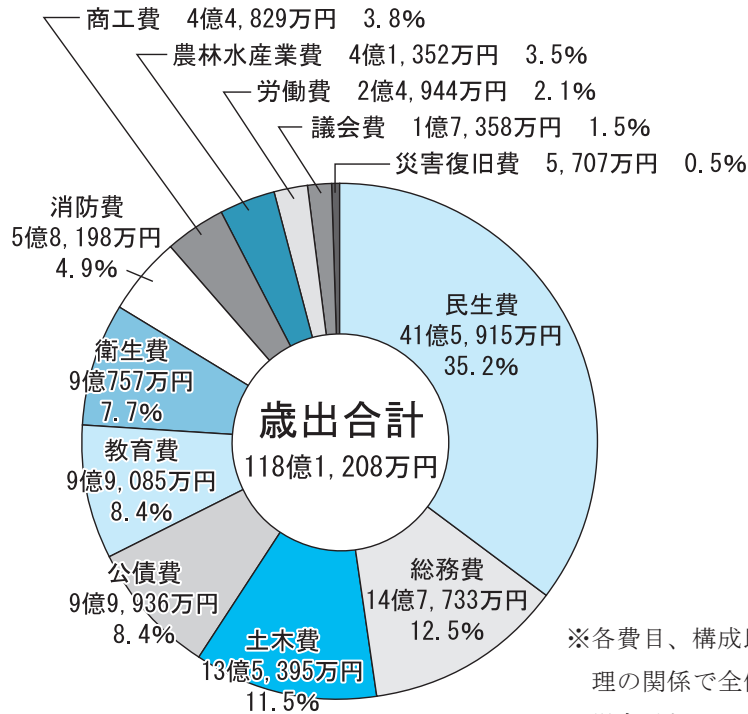
▼図1 一般会計の決算状況



一般会計の決算状況

平成23年度一般会計決算額は、歳入121億1,094万円、前年度(141億3,703万円)より20億2,609万円(14.3%)減少し、歳出118億1,208万円、

前年度(137億3,817万円)より19億2,609万円(14.0%)減少しています。また、翌年度に繰り越す財源を除いた実質収支は、2億8,117万円の黒字となっています。



【歳入】

歳入の主なものとして、市税は40億7,905万円で、企業業績が好調だったことやたばこ税の税率改正などにより市民税や市たばこ税が増加しており、市税全体としては前年度(40億6,605万円)と比較して、1,300万円

(0.3%)の増加となっています。

地方交付税は、実質的な地方交付税である臨時財政対策債とあわせると31億4,633万円で、前年度(32億6,940万円)と比較して、1億2,307万円(3.8%)減少しています。

【歳出】

市債は、9億7,058万円で、前年度(18億3,129万円)と比較して、8億6,070万円(47.0%)減少しています。

歳出の主なものとして、総務費は14億7,733万円で、前年度に比べ地域情報通信基盤整備事業などが縮小したことにより、前年度(30億9,355万円)と比較して、15億3,202万円(50.9%)減少しています。民生費は、41億5,915万円で、前年度(40億9,835万円)と比較して、6,080万円(1.5%)増加しています。

衛生費は、9億757万円で、子宮頸がん等ワクチン予防接種助成事業、ごみ焼却処理施設の機械設備更新事業などを実施したことにより、前年度(8億1,903万円)と比較して、8,854万円(10.8%)増加しています。

消防費は、5億8,198万円で、救助工作車を整備したことなどにより、前年度(4億9,001万円)と比較して、9,196万円(18.8%)増加しています。

※各費目、構成比の合計は、端数処理の関係で全体の計と一致しない場合があります。

財政構造の弾力性

財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、平成23年度は95・0で前年度（88・9）と比較して、6・1ポイント悪化しています。地方交付税及び臨時財政対策債の減少などが主な要因となっています。

基金残高の増加

平成23年度末時点の基金残高は42億8,303万円で、前年度（42億6,890万円）と比較して、1,413万円（0・3%）増加しています。増加の主な要因は都市基盤整備基金や市立図書館建設基金の積立、基金の運用収益によるものです。

市債残高の増加

平成23年度末の市債残高は、98億9,501万円で、前年度（97億7,034万円）と比較して、1億2,467万円（1・3%）増加しています。増加の主な要因は臨時財政対策債の借入によるものです。


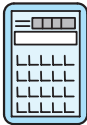

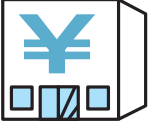








持続的な財政運営に向けて

今後、人口減少や少子高齢化の進行による社会保障関連経費や老朽化した施設等に対応する経費の増加が見込まれます。こうした状況の中、限られた財源で最大の効果が出るよう、「暮らしの質の向上等を図るための条件整備」や「交流人口の拡大から定住へつなげる施策」に取り組んでいきます。

この言葉？

- ① 実質収支：形式収支（単純に歳入総額から歳出総額を除いたもの）から翌年度に繰り越すべき財源を控除した決算額。実質的な収入と支出の差額を示すものです。
- ② 臨時財政対策債：国から市へ交付される地方交付税が足りないため、その不足分の一部を借入してまかなっておく市債。後年度地方交付税の計算時に返済額全額が上乗せされます。
- ③ 経常収支比率：財政構造の弾力性を示す指標。この比率が高いほど経常的経費が占める割合が高く、臨時的な財政需要に使用できる一般財源が少ないことを示します。

住民一人当たりの使い道は？

民生費 145,085 円 	総務費 51,534 円 	土木費 47,230 円 	公債費 34,861 円 	教育費 34,564 円 	衛生費 31,659 円 
消防費 20,301 円 	商工費 15,638 円 	農林水産業費 14,425 円 	労働費 8,701 円 	議会費 6,055 円 	災害復旧費 1,991 円 

平成23年度末人口 28,667 人で算出。

合計額 412,044 円

▼表1 平成23年度の特別会計決算

会計名	歳入	歳出
貸付資金	1,486 万円	1,486 万円
港湾事業	4,279 万円	3,485 万円
国民健康保険	36 億 4,772 万円	36 億 4,664 万円
公共下水道	6 億 2,349 万円	6 億 2,349 万円
介護保険	30 億 9,083 万円	30 億 9,083 万円
公共用地先行取得	0 円	0 円
後期高齢者医療	3 億 8,073 万円	3 億 8,007 万円

1 のとおりです。特別会計の決算状況は、表

特別会計決算状況

財政健全化判断比率の状況

財政健全化判断比率については、表2のとおりです。

▼表2 健全化判断比率

健全化判断比率	平成23年度指標	平成22年度指標	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし※	赤字なし※	(14.04)	(20.00)
連結実質赤字比率	赤字なし※	赤字なし※	(19.04)	(40.00)
実質公債費比率	9.0	9.9	(25.0)	(35.0)
将来負担比率	34.0	33.5	(350.0)	—

※実質赤字額または連結実質赤字額がないため、赤字なしと記載しています。

この言葉??

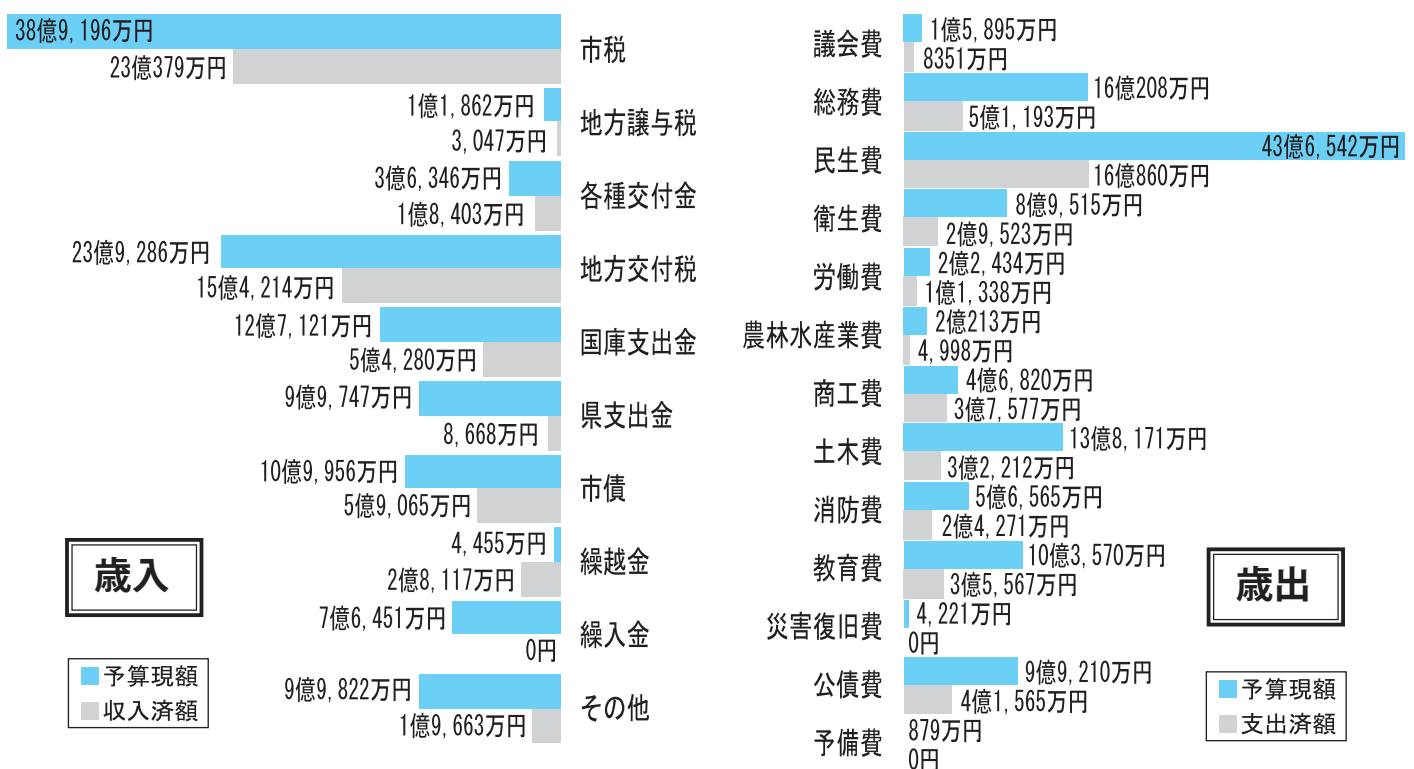
- ①実質赤字比率…一般会計等についての赤字額を標準財政規模で除したものの。
- ②標準財政規模…地方公共団体の一般財源の標準的な大きさを表す指標で、地方税や地方交付税など地方公共団体が自由に使えるお金の大きさを表したものの。
- ③連結実質赤字比率…市の全ての会計の赤字額と黒字額を合算して、その赤字額を標準財政規模で除したものの。
- ④実質公債費比率…一般会計等の支出のうち、公債費や公債費に準じた経費（公債費にあてるための繰出金等）を標準財政規模で除したものの。
- ⑤将来負担比率…一般会計等が将来負担することとなっている実質的な負債（地方債償還や退職手当等）から負債の償還に充当可能な基金等の残高を控除したものを標準財政規模で除したものの。

平成24年度9月末現在の一般会計予算額は、119億4,242万円で、収入済額は57億5,836万円（執行率は48.2%）、支出済額は43億7,453万円（執行率は36.6%）となっています。一般会計の款別予算執行状況及び各特別会計の予算執行状況は図2及び表3のとおりです。

平成24年度上半期の予算執行状況

健全化判断比率はそれぞれ財政再生基準、早期健全化基準が設けられており、これらの基準を上回った団体は財政健全化計画の策定を義務付けられます。竹原市はいずれの指標も基準を下回っています。

▼図2 平成24年度上半期の一般会計の予算執行状況



▼表3 平成24年度上半期の特別会計の予算執行状況

会計名	予算額	収入済額	収入率	支出額	執行率
国民健康保険	37億3,709万円	12億4,983万円	33.4%	15億873万円	40.4%
貸付資金	1,202万円	669万円	55.7%	623万円	51.8%
港湾事業	4,385万円	2,706万円	61.7%	1,559万円	35.6%
公共下水道事業	7億5,299万円	378万円	0.5%	1億4,066万円	18.7%
公共用地先行取得	1,000円	0円	0.0%	0円	0.0%
介護保険	32億9,134万円	12億4,979万円	38.0%	13億5,626万円	41.2%
後期高齢者医療	4億2,271万円	1億2,338万円	29.2%	1億8,294万円	43.3%

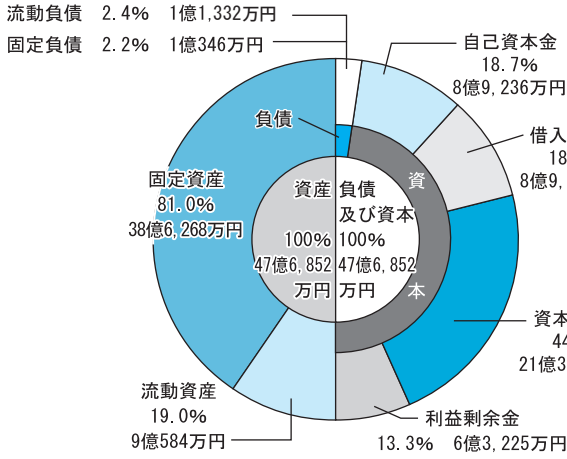
水道事業会計

平成23年度の決算

● 収益的収支（消費税込額）
収入総額 7億5,686万1,279円に対し、支出総額 7億3,280万7,457円で差引当年純利益 2,405万3,822円となりました。

● 資本的収支（消費税込額）
収入総額 1,336万3,668円に対し、支出総額 3億4,923万6,984円の不足が生じたので、減債積立金、過年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方税資本的収支調整額で補いました。

財政状況



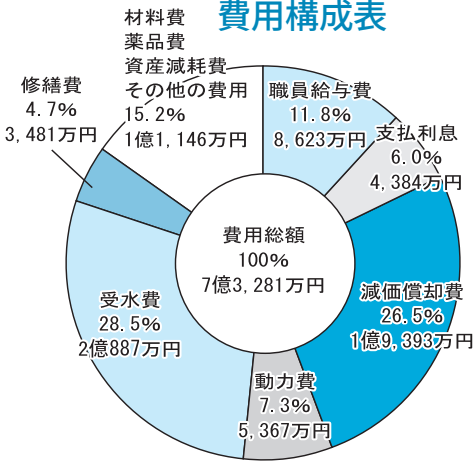
給水戸数 12,516戸

普及率 98.7%

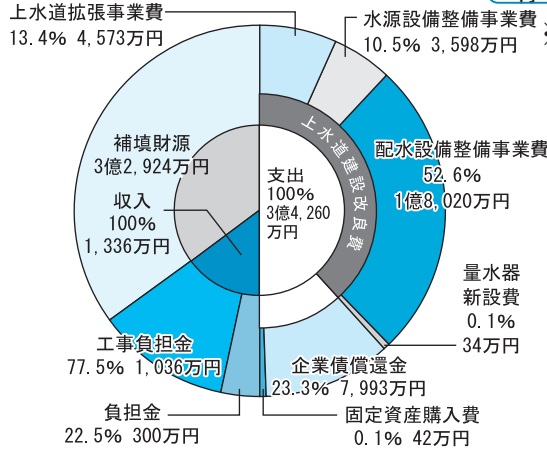
有収率 86.9%

※有収率とは、給水量に関する料金として回収された水量の比率

費用構成表



資本的収入及び支出の状況



この言葉??

① 収益的収入

水道の給水に関わって得る収益。水道料金、分担金、手数料など

② 収益的支出

水道を給水するための経費。施設維持管理費。人件費など

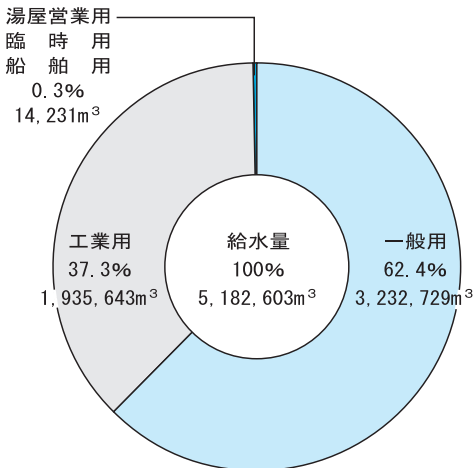
③ 資本的収入

施設の建設改良費に充てるため借入れた企業債や、国の補助金など

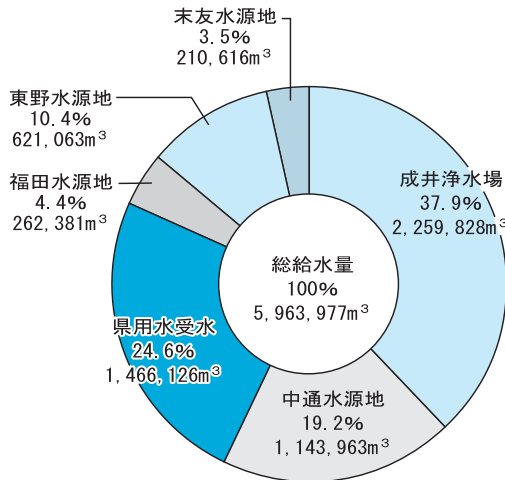
④ 資本的支出

施設の建設改良費、企業債の償還金など

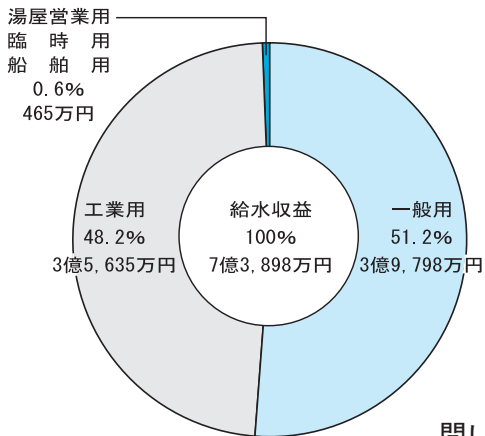
用途別給水状況



水源地別年間給水量



用途別給水収益状況



平成24年度水道事業会計上半期の予算執行状況

予算額 収入済額 支出済額

収入		区分	支出	
7億7,529万円	3億5,836万円	収益的 収支	7億5,590万円	2億2,209万円
1,371万円			4億6,057万円	
0円	0円	資本的 収支	4,396万円	4,396万円

問い合わせ 上下水道課庶務係 ☎ 22-7768